

国際原子力機関(IAEA)による福島第一原子力発電所 ALPS 処理水の 安全性レビューミッション（放出後第4回）に関する報告書の公表について

2025 年 9 月 16 日

東京電力ホールディングス株式会社

2025 年 9 月 12 日、福島第一原子力発電所の多核種除去設備等処理水（ALPS 処理水）の安全性レビューミッション（放出後第 4 回）に関する国際原子力機関（IAEA）のレビュー報告書が公表されました。

報告書は 2025 年 5 月 26 日から 30 日にかけて実施された、IAEA タスクフォース※による、IAEA の国際安全基準に基づくレビューの結論を示したものです。このレビューは、2023 年 8 月の ALPS 処理水の海洋放出開始後、4 回目となるものです。

経済産業省のニュースリリースによると、レビューや福島第一原子力発電所における現地確認での主な確認結果として

- ・タスクフォースにより、関連する国際安全基準の要求事項と合致しないいかなる点も確認されなかった。したがって、IAEA は、「包括報告書」に記載された安全性レビューの根幹的な結論を再確認することができる。
 - ・タスクフォースは、ALPS 処理水のために実施されているモニタリングプログラムが、関連する国際安全基準及び指針と一致していることを確認した。これらのプログラムは適切に記述、実施されており、その結果は、ALPS 処理水の放出が人および環境に及ぼすリスクは無視できる程度であるという放射線環境影響評価（REIA）の結論と一致している。
 - ・タスクフォースは、機器及び設備が実施計画及び関連する国際安全基準に合致した方法で設置され、運用されていることを確認した。
- などのポイントが挙げられています。

当社は、ALPS 処理水の海洋放出にあたり、引き続き、IAEA の国際安全基準に照らしたレビューおよびモニタリングを受けることを通じて、安全確保に万全を期すとともに、広く国内外の皆さまに対し、レビュー等の内容について透明性高く発信し、国際社会に理解を深めていただけるよう努めてまいります。

※2025 年 5 月のレビューミッションは、IAEA タスクフォースの構成員のうち、IAEA の職員および 7 名の国際専門家（アルゼンチン、カナダ、韓国、中国、米国、ベトナム、ロシア）が来日した。

<IAEA プレスリリース>

<https://www.iaea.org/newscenter/pressreleases/iaea-report-confirms-japans-alps-treated-water-discharge-continues-to-meet-international-safety-standards>

<IAEA 報告書>

<https://www.iaea.org/sites/default/files/fourth-review-mission-to-japan-after-the-start-of-advanced-liquid-processing-system-treated-water-discharge-0120925.pdf>

<経済産業省のニュースリリース>

<https://www.meti.go.jp/press/2025/09/20250916004/20250916004.html>

以 上